

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	精神科救急医療体制整備事業				シート番号	011-204	
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	精神保健	課 評価責任者(課長名)	永井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 精神科救急医療体制整備事業実施要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	休日夜間における緊急的な精神科医療が必要となる精神障害者等に対する精神科救急医療体制について、堺市が平成18年4月に政令指定都市へ移行したことに伴い、大阪府及び大阪市が実施していた大阪府精神科救急医療体制に参画し、現在に至る。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	休日夜間における緊急的な精神科医療を必要とする精神障害者等			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	休日夜間における精神科救急医療体制を整備し、迅速に適切な医療を提供することにより、疾患の重篤化の軽減を図る(大阪府、大阪市との共同事業)。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	休日夜間において、緊急的な精神科医療を必要とする精神障害者等が地域で適切な救急医療が受けられるよう、大阪府内全域で体制及び病床を確保(平日夜間は7床、休日は12床)し、緊急に受診が必要となる本人やその家族等、又は救急隊や警察からの受診依頼に関し、病院との調整を行う。また、精神科の受診、入院等の医療相談に対応し、当該精神障害者等の症状の緩和が図れるよう適切に対応するとともに、必要に応じて医療機関の紹介や受診指導を行う。 なお、以前からの課題であった精神科と一般科の両方の治療を要する患者の対応について、一般科の救急病院と精神科の救急病院の連携の仕組みを構築し、平成27年8月から稼働させたことにより、一定の対応が可能となった。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
		大阪府				

Ⅲ. 投入量

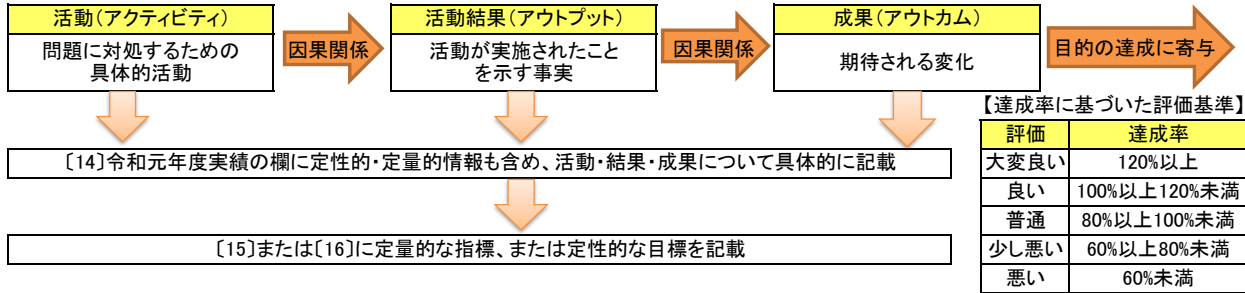
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	50,886	47,466	50,391	45,355	49,562	46,133	49,175
	主な事業費内訳								
	精神科救急病院・受付窓口等体制確保事業	千円	26,238	24,837	26,246	23,151	24,834	23,366	24,691
	緊急措置診察24時間体制運営事業	千円	15,355	13,418	14,879	12,913	15,336	13,244	14,957
	精神障害者24時間医療相談事業	千円	9,029	9,026	9,007	9,007	9,133	9,138	9,202
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円	19,351	19,062	19,295	19,054	19,459	20,547	19,561
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円	31,535	28,404	31,096	26,301	30,103	25,586	29,614
12	人件費 (b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,460	2,430	2,430	2,460
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	53,346	49,926	52,851	47,815	51,992	48,563	51,635

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	精神科救急医療体制整備事業	シート番号	011-204
-------	---------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	精神科救急医療体制は、休日夜間の緊急な精神科医療に対応するための体制であり、令和元年度も大阪府・大阪市と共同で整備を行った。堺市内の受診要請への対応件数は95件であり、うち市内医療機関での対応が38件と、4割が堺市内の医療機関で対応できていた。また、身体疾患と精神疾患を併せ持つ患者への対応として平成27年より開始した精神科合併症支援システムも定着してきており、令和元年度も市内一般科救急医療機関からの依頼(28件)に対応した。						
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		15	精神科救急医療機関対応件数	件	目標値	—	—	—
					実績値	114	100	95
					達成率	—	—	—
					評価	—	—	—
		算出方法・設定根拠など		精神科救急受診相談のうち、救急受診が必要と判断され、受診及び入院した件数				
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		16	精神科救急医療機関対応件数のうち、市内医療機関対応件数	件	目標値	—	—	—
					実績値	55	36	38
					達成率	—	—	—
					評価	—	—	—
		算出方法・設定根拠など		精神科救急受診者のうち、市内医療機関で対応した件数				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	精神科救急受診相談件数	件	189	179	132
	②	上記①にかかる年間経費	千円	6,841	6,668	6,683
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	36,196	37,251	50,629
	備考(算出についての説明等)		精神科救急受診相談体制の整備に係る経費を計上			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	精神科救急医療機関対応件数	件	114	100	95
	②	上記①にかかる年間経費	千円	13,634	12,508	12,636
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	119,597	125,080	133,011
	備考(算出についての説明等)		精神科救急受診に係る経費(精神科救急病院の受入体制確保に係る経費: 国庫補助基準単価ベース)を計上			

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	<p>地域の医療機関が休診となる休日や夜間の救急体制の整備は、緊急な精神科医療を必要とする精神障害者等が利用できるシステムであり、大阪府・大阪市と連携し、安定的な運用ができています。</p> <p>また、平成27年8月から稼働させた、一般科の救急医療機関と精神科の救急医療機関の連携の仕組みを組み込んだ新たな精神科救急医療体制(精神科合併症支援システム)についても、関係機関による利用状況の検証、課題等の整理を定期的に行うとともに、更なるシステムの利用促進のため、救急告示病院向けの説明会や周知を行ったことで、身体疾患と精神疾患の双方の治療を必要とする患者の受け入れが進んできています。</p>
	<p>【分析のチェックポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。 	

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	精神科救急医療体制整備事業	シート番号	011-204
-------	---------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞
 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 精神科救急医療の受診体制を休止することによる精神症状の憎悪につながるようになる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 精神科救急医療の受診体制を休止することによる精神症状の憎悪につながるようになる。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 精神科救急医療体制は、民間の精神科病院等の協力により整備しており、受入体制や病床の確保にかかる経費、また、救急受診に関する受付窓口の人件費等であり、コストの縮減はできない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 精神科救急医療体制の整備であることから、社会経済活動の維持・回復、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容にかかわらず、実施手法の改善の必要はない。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 効率的な事業実施の観点から、精神科救急医療体制は、大阪府・大阪市と共同で整備している。 また、救急患者の受入体制や病床の確保については民間の医療機関にも既に委託を行っており、公民連携で事業を実施している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
	所見	休日夜間における精神科救急医療体制について、今後とも大阪府・大阪市と連携しながら効果的な体制を維持していく。		